

スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2018年4月10日

国内株式市場は、2月上旬に大きく下落し、その後も上値の重い展開が続いています。当レポートでは、足元の投資環境をどう捉え、当ファンドでどのような対応を行っているのかについて、ご案内いたします。

1. 投資環境と今後の見通し

① 2月上旬に株価急落

国内株式市場は、2月上旬に大きく下落しました。その後も反発力は弱く、上値の重い展開が続いております。

海外株式市場も調整している一方、為替市場においては円高ドル安が進行しております(図表1)。

② その後も上値の重い展開

2月上旬に発表された1月の米国雇用統計において、賃金上昇率が2009年6月以来の大幅な伸びとなったことを機にインフレ懸念が高まり、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが加速するとの観測が高まるなか、米国長期金利が上昇しました。

これを受けて、米国株式市場が急落し、世界的に投資家のリスク回避の姿勢が強まり、株価の変動性(ボラティリティ)が上昇したことが、2月上旬に株価が急落した背景と考えられます。

その後、米国長期金利は落ち着いた動きとなったものの、足元においては、日米における政権運営や米中貿易摩擦に対する懸念に加え、円高ドル安の進行による企業業績の先行き悪化リスクが意識されたことなどから、国内株式市場は上値の重い展開が続いております。

③ 世界経済は足元で改善が一服

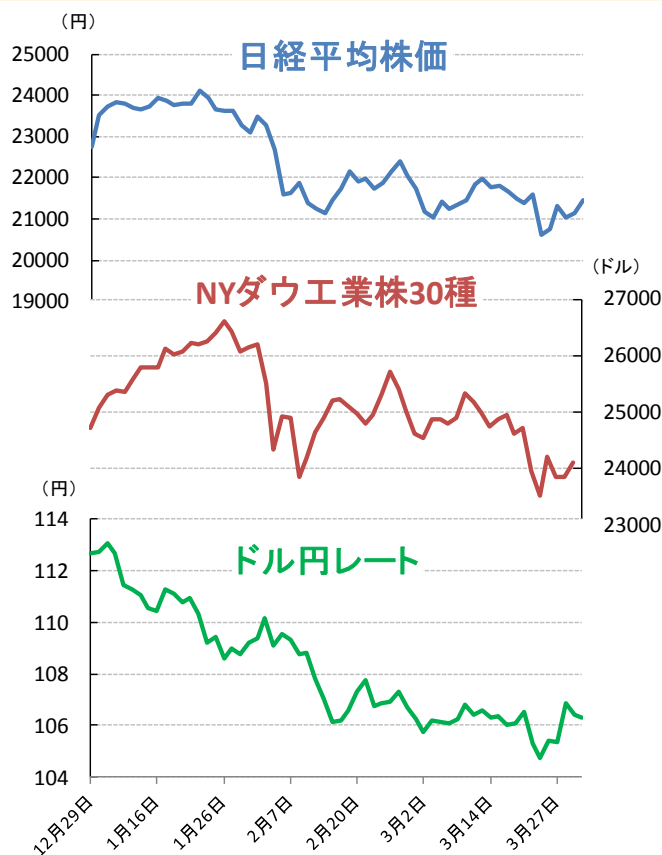
製造業を中心に循環的な回復をしていた世界経済は、足元で改善が一服していると思われます。主要国・地域の製造業の景況感を表すPMI(購買担当者景気指数)は、米国を除くと、2018年に入ってから弱含みで推移しているように見られます(図表2)。

このため、2018年度の日本企業の業績に関しては、円高ドル安の影響もあり、製造業を中心に増益率が鈍化する公算が高いと考えられます。

④ 当面の国内株式市場は不安定な展開を想定

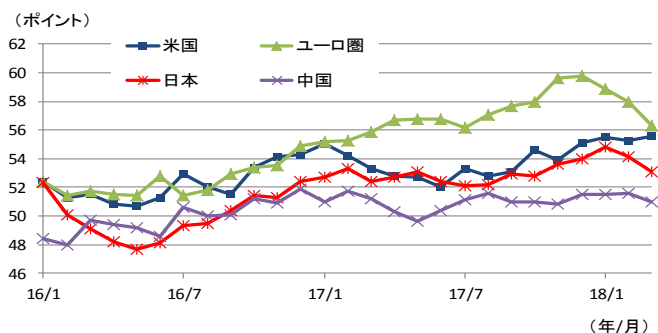
当面の国内株式市場は、為替市場、世界景気及び日米における政権運営などに対する警戒感などから、ボラティリティの高い不安定な展開が想定されます。しかしながら、株価バリュエーションは割安と考えられるほか、下値では日銀の上場投資信託(ETF)買入れや上場企業による自社株買いなど需給面でも良好な環境が続くと考えられます。こうしたことから、国内株式市場が一段と下落する可能性は低いと考えております。

図表1 市場動向



(注) NYダウは2018年3月29日まで
(期間)2017年12月29日～2018年3月30日(日次)
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

図表2 主要国・地域の製造業PMI (マクミットPMI)



(期間)2016年1月～2018年3月(月次)
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている状況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2. 当ファンドにおける対応

マザーファンドでは、2月以降、世界景気の回復一服や円高ドル安進行などによる業績への悪影響が懸念されたことから、機械株や自動車株などの輸出関連株の組入比率を引き下げました。

一方、円高ドル安による業績への悪影響が相対的に小さいと考えられる内需関連株の中から、独自のビジネスモデルや高い競争力の優位性を有しており、中期的な利益成長性やROE(自己資本利益率)の向上余地が高いと考えられる銘柄の組入比率を引き上げました(図表3)。

図表3 2月以降の主な売買銘柄
(マザーファンド)

	銘柄名	業種
買付	エムスリー	サービス業
	タカラバイオ	化学
	山九	陸運業
売却	ダイキン工業	機械
	スズキ	輸送用機器
	THK	機械

(期間)2018年2月1日～2018年3月30日

3. 当ファンドにおける注目分野

今後、株式市場においては、世界景気の回復一服や日本企業の2018年度の増益率鈍化が予想される中、競争力の優位性が高いとみられる銘柄や中期的な利益成長性が高いと考えられる銘柄が、一段と選好される展開になると考えます。当ファンドでは、このような見通しのもと、売上成長による業績拡大などに伴い、ROEや売上高営業利益率の上昇が見込まれる以下の銘柄等に注目し、積極的なスタンスで投資を行っています。

▶ テクノロジー関連銘柄

注目点 : 人工知能(AI)やIoT(Internet of Things、モノのインターネット)など新たな市場の創出により、中長期的なROE向上余地が大きいと見られる
主な組入銘柄 : 日本電産、TDK、SCREENホールディングス、住友ベークライト

▶ グローバル化を推進する内需関連銘柄

注目点 : 日本の人口減少、低い経済成長率が続く中、M&Aや海外市場開拓などグローバル化を推進することで、中長期的な売上高営業利益率の上昇が見込まれる
主な組入銘柄 : 資生堂、三浦工業、アサヒグループホールディングス、ファーストリテイリング

▶ 医療関連銘柄

注目点 : 創薬支援ビジネスの成長が見込まれるバイオテクノロジー関連株、独自のビジネスモデルを展開する医療サービス株、競争力の高い製品を有する医療機器株は、中期的なROE向上が期待される
主な組入銘柄 : エムスリー、ペプチドリーム、タカラバイオ、日本ライフライン

▶ 人材サービス関連銘柄

注目点 : 国内における人手不足が深刻となる中、求人広告や転職支援などを手掛ける人材サービス会社の売上高営業利益率の上昇余地は大きいと見られる
主な組入銘柄 : リクルートホールディングス、じげん、エン・ジャパン

※上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。
※当ファンドの運用は、マザーファンドを通じて行っております。

今後も、主にROEや売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目した銘柄の選別を進め、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2018年3月30日)

ファンドの概要

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	11,301円	11,907円
純資産総額	6,578,541,018円	729,790,075円

設定来分配金累計	4,100円	2,900円
分配金再投資 基準価額	16,029円	15,372円

※基準価額は1万円当たりです。

※分配金は1万円当たり、税引前です。

※分配金再投資基準価額は小数点以下を切り捨てて算出しております。

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	87.0%	88.2%
マザーファンド	92.0%	93.3%
為替予約比率	93.0%	---

※株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた株式の実質組入比率です。

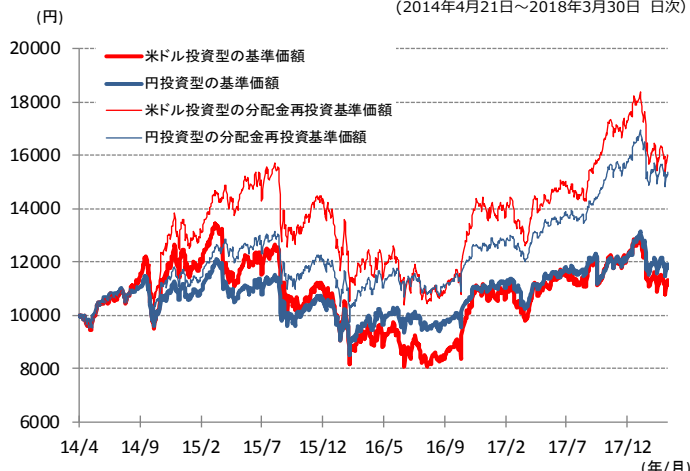
※為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

	日本優良成長株マザーファンド
株式組入比率	94.5%
組入銘柄数	53銘柄

※株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

設定来の基準価額の推移

(2014年4月21日～2018年3月30日 日次)



※上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。

※設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本です。

※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)

が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	17.8 %
2	化学	15.4 %
3	サービス業	9.1 %
4	小売業	6.2 %
5	機械	6.1 %
6	建設業	5.6 %
7	卸売業	4.1 %
8	その他製品	4.0 %
9	銀行業	3.0 %
10	情報・通信業	2.9 %

※業種、銘柄の各構成比は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	資生堂	4.9 %
2	ドンキホーテホールディングス	4.5 %
3	エムスリー	4.3 %
4	日本電産	4.1 %
5	任天堂	4.0 %
6	三浦工業	3.1 %
7	キーエンス	2.9 %
8	SBIホールディングス	2.9 %
9	TDK	2.8 %
10	アサヒグループホールディングス	2.8 %

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
- 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を楽しむことを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
- 「円投資型」については、外国為替予約取引等は行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)／(円投資型)(愛称 スマートジャパン)
追加型投信／国内／株式

2018年4月10日

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
西日本シティIT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)